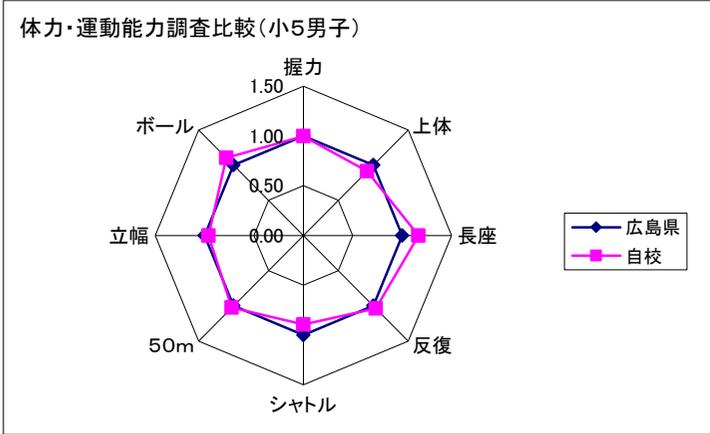
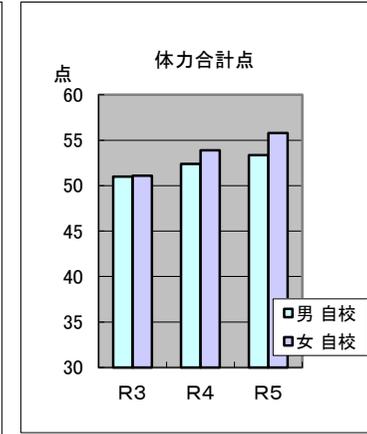
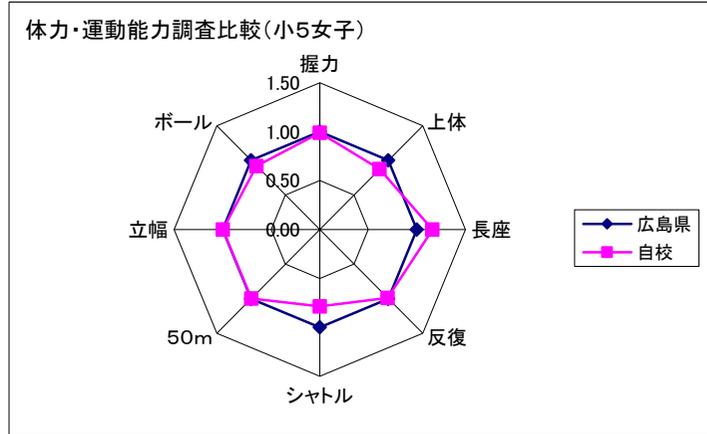


男子の体力合計点 学校53.35点 県平均 54.16点



女子の体力合計点 学校55.8点 県平均56.22点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析	
①50m走(呉市の課題種目)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と平均値を比較すると、男女とも記録が伸びていた。 男子は全国・県平均ともに上回ることができたが、女子は全国・県平均ともに下回っていた。 体育科の授業で、「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」の走種目に全クラス取り組むことで、前年度の平均値を上回ることができたと考える。また、コロナ対応が緩和され、運動できる機会が増えたことが関係していると思われる。
②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と平均値を比較すると、男女とも記録が伸びていた。 男子は全国・県平均ともに上回ることができたが、女子は全国・県平均ともに下回っていた。 地域のソフトボールや野球チームで活動している男子が多く、休憩時間に運動場でボールを使ってよく遊んでいることも関係していると思われる。
③反復横跳び(自校の課題種目)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と平均値を比較すると、男子は記録が伸びていたが、女子は下がっていた。 男女とも全国平均を上回ることができた。男子は県平均も上回ることができたが、女子は県平均を下回っていた。 実施してきた取組の成果が少しずつ表れていると考えられる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目(50m走)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」の走種目「ダッシュリレー」を重点的に行い、学級ごとに記録に挑戦し、楽しんで走力を高められるようにする。また、学級の記録を、教室に掲示して、記録の更新に挑戦しようとする気持ちを高める。 体育科の授業で、逃げる・追いかける等の鬼遊びを継続して行う。 学期に1回、運動委員会の児童の企画による運動ウィークを設定し、走って遊べる場をつくる。 <p>具体的な数値目標 (男子0.2秒, 女子0.2秒)</p>
②中学校区の課題種目(ソフトボール投げ)	<p>具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、体育科のボール運動系の授業で、ゲームだけでなく、ボールを投げる機会を意図的に設定する。 投げるフォームやボールの握り方等を指導する。 <p>具体的な数値目標 (男子3m, 女子3m)</p>
③自校の課題種目(反復横跳び)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育科の授業(運動場)の最初に、計画的にラダー運動に取り組む。 体育科の授業で、膝を使って姿勢を低くして動いたり、ステップを細かく刻んだりする運動をゲーム化し、楽しく運動を行えるようにする。 <p>具体的な数値目標 (男子4回, 女子4回)</p>

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)